★洋友会 第21回【 水彩画教室展 】 2023年10月13日～18日

［会場］守口文化センター 三階ギャラリー

① 北九州市大連友好記念館（門司）　② サッポロビール園（北海道）　③ 延暦寺事務所（坂本）
④ 果物と栗　⑤ 湯浅 和歌山　【天田 吉彦 さん】

① ジーンズ姿のモデル嬢　② 静物 野菜Ａ　③ 明るいモデル嬢
④ 関門橋と歴史的遺産　⑤ 幸を求めて 大仏のお身拭い　【永田 健一 さん】

☆ ＜特集記事＞　【水彩画教室】紹介 … 「 天田 吉彦 さん」

１．現在の活動について

例会は基本的に毎月２回行っており、毎年６～９月と１２～３月は京阪守口市駅と西三荘駅の間にあるパナソニック守口橋波ビル(京阪西三荘ｽｸｴｱ)のサークル活動室で、そして気候の良い４・５月と１０・１１月は近郊へ野外スケッチに出かけます。指導は当初三洋OBで白日会の山田博司先生でしたが、現在は二紀会関西支部の定森満先生にお願いしています。

(1)室内例会について

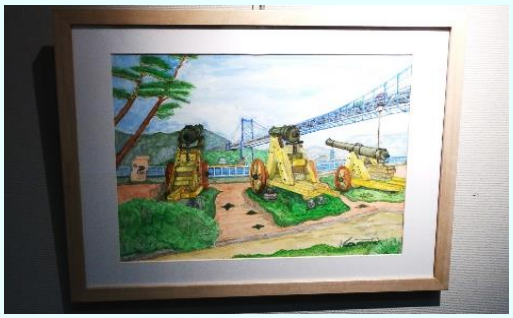
午後１時～３時の２時間に１枚の絵を描きます。鉛筆の下書き時に、構図や物の形の取り方を先生から教わります。色付けでは、思いもよらない色を加えられることがあって、「あれ違う」と心では叫びますが、不思議に見違える絵になりビックリです。初心者は写真のように描こうとしますが、絵は作るものという概念が理解でき身についてきました。小学生のような初心者だったのが人様に何とか見てもらえるような絵を描いているのではないかと自負しています。（中々大変ですが少しずつの進歩です）午後３時に描き上げた絵を並べて先生の講評です。先生は先ず褒め、そしてより良い絵にする方法を教えてくれます。また、他人の講評から学ぶことも多々あり絵を描く２時間は普段では余り体験しない緊張と集中の時です。

この教室は、絵を描く目的で集まった肩の凝らない仲間です。昔、山田先生から「６０過ぎて絵が上手く描けるようにはならん、楽しくやればいいんや」と言われましたが、やはり上手くなりたいと四苦八苦しているのが現状です。

※ **作品**は大東会員：「天田 吉彦 さん」・「永田 健一 さん」

(2)スケッチ旅行について

５月連休明けに１泊２日で行っております。特に、教室発足の１５周年記念には函館へ、２０周年には下関・門司へ２泊３日で行ってきましたが、何故か２回とも雨にたたられ絵を描くというより親睦旅行になりました。



(3)水彩画教室展について

毎年１０月に守口文化センターで開催します。毎回、多くの一般の皆さんに日頃の力作？を見ていただいています。この教室展は私達の一つの区切りでありであり励みになっています。いつも会場に絵を掛け終わって皆さんが来られるまでの間、先生から講評をいただきますが、今年は熱心過ぎて開場時間を過ぎてしまいました。

２．<u>水彩画教室</u>の発足について

この教室は三洋絵画クラブの有志の尽力で「絵画制作を愛し、会員相互の親睦を深めながら楽しく趣味活動を行う」の趣旨で２００１年に発足しました。当初の会員は２１人（大阪中心で大東からは２人、その後増えました）、小学校以来絵筆を持ったことのない人が約半数でしたが、先輩に助けてもらい守口京阪百貨店の画材店「カワチ」で絵具一式を揃えました。（初心者には好奇心あるのみでした）今過去を振り返ると、あの頃は下手な絵を教室展に出していたと思いますが、そのような気遣いをさせないのがこの教室の良いところです後になって、この教室のレベルは高いと言われたことがあります。

（やはり、上手くなっているのだと自画自賛です）

若い時から絵に親しんでいて市教育委員会長賞を受賞する人、個展を開く人、作品の購入を要望されるベテラン会員もいます。約２時間のちょっとした緊張と集中を味わい、仲間との楽しい一時を過ごす、これぞ趣味の集まりです。

※ **作品**：大阪地区・定森満先生

お昼は会場のパナソニック守口橋波ビルに隣接したイタリアレストランで前菜付きのスパゲッティを食べています。（美味しいですよ）

◇これからの余生を楽しく過ごすため、一緒に水彩画を描いてみませんか。
皆さん関心を持った時、それ！スタートです。
（参加ご希望の方は大東支部へメールで連絡下さい）

※ eメールアドレス：【 info@yoyu-daitou.daa.jp 】